

■7月11日

神戸空港、6月利用状況、搭乗者数前年同月比1.7%増、新規就航路線好調

神戸市は10日、6月の神戸空港の搭乗者数が前年同月比1.7%増の18万285人だったと発表した。前年実績を上回るのは14カ月ぶり。AIRDO(2往復)とソラシドエア(3往復)がそれぞれ就航した新千歳、沖縄路線が好調だった。

路線別の利用者数は、那覇が前年同月比19.3%、長崎が7.1%、新千歳が5.3%、茨城が5.2%それぞれ増えたが、関空発のLCCと競合する鹿児島線は5.1%減となった。その一方、鹿児島線、茨城線のL/Fは50%に満たなかった。

(神戸新聞)7/10

<http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201307/0006147901.shtml> (-> <http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201307/0006147901.shtml>)

(神戸市 HP)

http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/airport/img/HP25_06.pdf (-> http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/airport/img/HP25_06.pdf)



神戸6月.png

Portable Network イメージフォーマット [58.3 KB]

[ダウンロード](#)

静岡空港、6月利用状況、上海線はL/F26.9%と過去最低

静岡県が発表した静岡空港の6月の利用状況は、国際線で上海線が尖閣諸島の問題などの影響で搭乗率、搭乗者数ともに過去最低(搭乗率は26.9%、搭乗者数は715人)を記録した。

国内、国外線合わせた搭乗率は53.8%で前年同月に比べると7.3%減。しかし搭乗者数は3万4901人で、前年同月より約4%上回った。

国内線は、搭乗率が54.0%で前年同月に比べて8.6%減少だった反面、搭乗者数は2万879人で、8カ月連続して前年同月を上回った。特に、福岡線の搭乗者数は前年同月比29%増の7816人で6月分としては過去最多、初めて7千人台に達した。

(産経ニュース)7/10

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130710/szk13071002070001-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130710/szk13071002070001-n1.htm>)

PEACH(LCC)、ブランドプロモーション、カワイイ文化発信、特別仕様機も

ピーチ・アビエーションは10日、10月成田就航を前に、ブランドコミュニケーションの第一弾として、内藤ルネとコラボレーションすることを発表した。内藤ルネの「ルーツof Kawaii」が Peachのブランドコンセプト「Cute &Cool」と共通することや、顧客の6割が女性であることなどから、今後様々なコンテンツや商品販売でルネを起用する。また、国内最大級のファッション&音楽イベント「GirlsAward」への参加も発表し、CAの参加を行う事も発表し、関東進出において潜在需要の掘り起こしを図りたい考えだ。

会見の場でPeachの井上社長は、「「LCCのPeach」と呼ばれるのではなく「Peach」と呼ばれるようになりたい」と、LCCを超えるブランド力育成に意欲を見せた。

さらに、8月から、Peachの客室乗務員を模した「ルネ」のキャラクターと「GirlsAward」のロゴをあしらった3機の機体を国内線と国際線で運航し、今回のサポートならびにコラボレーションを日本のみならずアジアに カワイイ文化を発信するという。

(PEACHプレスリリース)7/10

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130710-Press-Release-J.pdf> (->

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130710-Press-Release-J.pdf>)



PEACH(LCC)、井上CEO、エアアジア・ジャパンとの統合の可能性はない

ピーチ・アビエーションCEOの井上慎一氏は10日に開催した記者会見の場で、トラベルビジョンらの取材に応じ、エアアジア・ジャパンの統合の可能性について「(現時点では)ない。エアアジア・ジャパンはPEACHとは全く関係ない会社」との考えを示した。

(トラベルビジョン)7/10

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58220> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58220>)

エアアジアX(LCC)、株式上場、313億円調達、国際線の拡充を目指す

東南アジア最大の格安航空会社(LCC)であるエアアジアの子会社で中距離国際線の「エアアジアX」が10日、クアラルンプール証券取引所に株式を上場した。上場初値は1.26リンギと公開価格(1.25リンギ)をわずかに上回る水準だったが、9億8750万リンギ(約313億円)を調達し、日本や中国、オーストラリアなど国際路線の拡充にあてる。域内の圧倒的な競争力を背景に、東南アジア発着の国際線で勢力拡大を目指す。日経が報じた。

エアアジアXは 2006年設立され、マレーシアを拠点として、クアラルンプールと日本や中国、オーストラリアなど7カ国・地域を結ぶ14路線を運航している。

長距離の国際線LCCは、機体の効率化などが難しいため、成功した航空会社はほとんどない。このためエアアジア・グループは国際線の拡充と並行して、運航先の国における路線開拓も急ぐ。エアアジアX利用客の乗り継ぎを誘導し困り込む狙いだ。日本の国内路線を巡ってはANAホールディングスと提携の解消を決めたが、今後も別の提携先を探す考えとみられる。

(日経)7/10

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1004I_Q3A710C1FF2000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1004I_Q3A710C1FF2000/)

EU、フィリピン航空、欧州乗り入れ解禁

フィリピン大統領報道官室は10日、欧州連合(EU)がフィリピン航空(PAL)の欧州乗り入れを解禁したと発表した。EUの欧州委員会は2010年、安全基準などの問題で比航空各社の航空機乗り入れ禁止を決めていた。PALは長距離路線の拡充を進めているが、今後は欧州への直行便の就航が可能になる。

(日経)7/10

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1004Y_Q3A710C1FF2000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1004Y_Q3A710C1FF2000/)